様式第１号

説明コメントを削除してご記入をお願いいたします。

**年度　十勝ものづくり総合支援補助金　応募申請書**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

公益財団法人とかち財団

理 事 長　　長澤　秀行　様

　　　　　　　　　　　　　申請者　住　　　　　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者名（企業名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者役職・氏名　　　　　　　　　　　　　印

A 新製品・新技術・新サービス開発　　B 販路開拓（国内外）　　C 重点対象　のいずれかを記載して下さい。

事業区分　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事業

　　　　 （具体的事業名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

○○技術を活用した新規○○機械の開発　などと記載して下さい。

　上記の事業に関し、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 記

１．事業の目的及びその概要

本事業期間内において、どんな目的で何を実施するのか、それによりどんな成果を得ようとしているのかを簡潔に記載して下さい。

２．事業の着手及び完了の予定期日

着手年月日は交付決定予定日（6月1日）以降、完了年月日は最長で２月末日までです。

　　　　　　　着　手　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　完　了　　　　　　　年　　月　　日

様式第3号「補助金申請額 算出調書」で算出した交付申請額を記載して下さい。

３．補助金交付申請額　　　　金　　　　　　　　　　円

　申請者は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成３年法律第７７号）第２条第６号に規定する暴力団員若しくは暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する事業者ではないことを誓約します。

　申請者がこれらの者に該当することが判明した場合には、補助金等の交付の決定の全部又は一部が取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。また、上記の誓約内容を確認するため、公益財団法人とかち財団が他の官公署に照会を行うことについて承諾します。

申請書提出前に書類を確認し、チェック欄にチェックを入れてください。

＜添付書類チェックリスト＞

□　様式第２号 「事業計画書」

□　様式第３号 「補助金交付申請額算出調書」

□　様式第４号 「補助事業に要する経費の算出内訳」

□　様式第５号 「資金収支予算書・計画書」

□　様式第６号 「申請企業等の概要」

添付する場合のみ、チェックしてください。

* （任意様式）「研究開発等の説明書」（必須ではありません）

申請者の形態に応じて、必要書類を揃えてください。（下記のいずれかにチェック）

□　財務書類

　　　□　法人企業　　：　直近１年分の決算書及び登記簿謄本（コピー可）

　　　□　団体　　　　：　規約、会員名簿

　　　□　個人事業主　：　直近１年分の青色申告書又は収支決算書

様式第２号

**事　業　計　画　書**

記載例、説明コメントを削除してご記入をお願いいたします。

計画書は５ページ程度で作成してください。

必要により、図表を貼っても構いません。

1. **事業概要の詳細**

|  |
| --- |
| **事業実施の背景、必要性**  本事業を実施することが必要な背景や理由（既存製品や経営上の課題、消費者ニーズの高まりなど、なぜ提案事業の開発や販路開拓を行おうとしたのか）を記載してください。 |

記載例）今後の高齢化社会における労働力不足、自動化・省力化が叫ばれる中、近年、取引先から「○○のような機械」を開発できないかという要望が多数寄せられている。このような機械が開発できれば、自社の新たな主軸商品としての販売が期待できる。

|  |
| --- |
| **開発（販路開拓）製品の課題と解決手段及びそのために実施すること**  上記を踏まえて、開発や販路開拓しようとしている製品等の課題とそれを解決するために実施しようとしている方法や手段及びそのために本事業で申請する費用の理由等を記載してください。 |

記載例）「○○のような機械」を開発するには、技術的に○○部の駆動性を高速化し、且つ精度を維持するといった課題があるが、これを○○技術を活用し、○○部をこれまでと違った原理で駆動させることで解決できると考えている。

このためには、まず○○部の機構を開発し、作動状況を確認する必要がある。この確認が済めば、試作機にこれを搭載し、配線等を含めた組立てを行い、動作を制御する基盤を外注して作成する。その後、自社で制御プログラミングを行い、新たな機械の作動実証試験を実施する。実証試験の実施には取引先である株式会社○○に協力を仰ぐ。実証試験の結果を基に更なる改善に努め、〇月に予定される展示会「○○○展」へ出展し、ユーザーの反応を確認する。

|  |
| --- |
| **実施により得られる効果、達成目標**  本事業期間内（事業開始から事業終了まで）で得られる効果や達成すべき目標、申請者が望む成果を簡潔に記載してください。 |

記載例）○○部の高速化と精度の維持が実現すれば、これまで作業に要した時間を大幅に短縮可能と推測され、取引先のニーズに応えた製品開発と販売の実現により、○○業界において必要不可欠な機械となると期待している。

達成目標は従来の作業時間○○時間に対し、開発機械の投入による作業時間を○○時間に短縮することとする。また、取引先へのヒアリング結果から、1台あたり○○○万円以内で販売できることが目標となる。

|  |
| --- |
| **差別化・独自性**  開発（販路開拓）しようとしている製品等について、競合商品に対しどのように差別化をし、独自性を出していくのか、及びその製品等の持つ「強み」、「特長」を記載してください。 |

記載例）「○○のような機械」はこれまで競合製品が存在せず、このような機能を有する代替製品はない。このため、本機械は独自性の高い機械であり、○○業界の自動化・省力化を図る上で、新規性が高い。

1. **事業化までの実施スケジュール**

|  |
| --- |
| **補助事業期間内の実施予定スケジュール**  本事業期間内（事業開始から事業終了まで）の予定スケジュールを記載してください。 |

記載例）

6月～10月　機構開発、作動確認

11月～12月　試作機組立、制御基板外注、プログラミング

1月　（株）○○の協力により、作動実証試験実施

2月　「〇〇展」出展、ユーザー反応確認、事業終了

　　　　　　6月　　　　　8月　　　　10月　　　　12月　　　　2月

機構開発

試作機組立

実証試験

展示会出展

|  |
| --- |
| **補助事業終了後の展開予定スケジュール（販売実現に向けたスケジュール又は販売戦略）**  販売開始予定時期や販売方法、販売予定先、新たな事業展開、最終的な達成目標（実現すべき目標）などを記載してください。 |

記載例）

3月　「○○展」の総括による課題解決、改善

4月～　取引先説明、現地モニタリング試験

10月～　試験販売開始

R3. 4月～　本格販売

|  |
| --- |
| **【重点事業必須】地域活性化への貢献**  本事業をきっかけとして、開発（販路開拓）しようとしている製品や取組み等がどのように地域経済や産業活性化に寄与するか、具体的事例で説明してください。＊重点以外の申請事業は該当する場合、記載してください。 |

記載例）なし

**３．マーケティングの視点**

|  |
| --- |
| **顧客ニーズ**  開発製品（販路開拓では対象商品）にどのような顧客ニーズがあるのか具体的に記載してください。 |

記載例）本機械は、取引先ヒアリングにより○○業界から既に○○件の要望や相談が寄せられている。

|  |
| --- |
| **ターゲット**  ターゲットとする顧客の属性（年齢、性別、職業、経済レベルなど）を具体的に記載してください。全く新しい商品の場合も、想定するターゲットの属性を記載してください。 |

記載例）自社のターゲットは、従来の取引先○○社だが、○○業界以外にも販路がある可能性があり、そのためにも○○展への出展により新たなターゲットを探索したい。

|  |
| --- |
| **市場規模**  ターゲットとする市場の規模（人数、売上など）を具体的に記載してください。全く新しい商品の場合も、想定するターゲットの人数や売上を購入頻度や購入許容価格などのアンケートやヒアリングなどを基に推定してください。 |

記載例）○○業界の全国の対象事業者は○○○社が存在すると推測され、そのうち５％のシェアを獲得できれば〇〇社との取引が成立する。その場合、1台○○○万円で販売すると仮定して、年間〇○○○万円の売上を目標とする。

|  |
| --- |
| **競合商品あるいは参入障壁**  競合する商品について、参入障壁の有無・高低とその根拠を含め具体的な内容や分析を記載してください。 |

記載例）競合商品は現在のところない。但し、今後、競合商品が現れる可能性はあり、販売時期や販売価格の面で競争を強いられる可能性がある。また、販売後においてもアフターサービスの体制を整えることが遠隔地へ販売する際のハードルとなる。

1. **実施体制**

|  |
| --- |
| **本事業の事業担当者について**  本事業を主に担当される方の役職、氏名、担当業務、在職（経験）年数、取得資格等を記載してください。 |

社内での開発体制（責任者名、経理管理者名、実施担当者名及び役割）を

記載して下さい。

|  |
| --- |
| **本事業の協力者について**  事業実施にあたり客観的な指導・助言を仰ぐ協力者の概要および協力内容について記載してください。 |

外部の協力を仰ぐ場合に、協力者名と、協力者の役割を記載して下さい。

1. **他の補助金交付実績**

|  |
| --- |
| **過去３年間に交付を受けた補助金**  交付年度、補助金名、補助交付者、補助金額、補助金採択課題名を記載してください。 |

記載例）

2019年度　発展・橋渡し研究補助金（ノーステック財団）　３8０万円

　　　　　「〇〇大学の技術シーズを用いた新規○○機械の開発」

1. **担当者連絡先**

|  |
| --- |
| **本事業の窓口担当者**  本事業について問合せする場合の窓口となる担当者役職・氏名、電話等の連絡先、電子メールアドレスを記載してください。 |

（担当者役職・氏名）

（電話／ＦＡＸ）

（電子メールアドレス）

以上